

2025.12.23

第14回 周南市スマートシティ推進協議会

- ▶ 資料1 今年度の市の取組について
- ▶ 資料2 周南スマートシティデザインラボについて

資料1

今年度の市の取組について

令和7年度デジタル関連の市の取組 (1 / 2)

※令和7年度新規・拡充する取組のうち、市民に影響がある取組を抜粋して掲載

運用中：市民や職員がサービスを利用できる状態
 着手済：必要な手続等に着手している状態
 検討中：事業について検討を行っている状態

分野	取組	概要	状況
暮らし	1 市公式LINEの拡充	市民が自身の関心に応じて情報を自動で受け取れる仕組みと、関心のある分野をメニューから選択できる機能を備えた市公式LINEを拡充する。さらに、メニューから市ホームページへの誘導も行い、必要な詳細情報にスムーズにアクセスできる環境を整える。	着手済 R7年度運用開始予定
安心安全	2 防災DXの推進	迅速かつ的確な災害情報等を発信し、市民の安全・安心を確保するため、災害情報システムを構築する。	着手済 R7年度試験運用開始予定
	3 消防指令システムの更新	災害時の状況把握や消防活動の効率化を図るため、消防指令システムの更新を行う。	運用中 R7.11～
行政	4 キャッシュレス決済窓口の拡充	市民の利便性の向上および現金取扱いに係る窓口業務の効率化を図るため、キャッシュレス窓口の拡充と、それに伴う事務フローの見直しを行う。	着手済 R7年度運用開始予定
	5 預貯金等電子照会	行政・金融機関双方の負担軽減及び事務処理の効率化のために、預貯金等照会の電子化サービスを利用する。	運用中 R7.4～
	6 クラウド型電子契約サービスの導入	市及び事業者のペーパーレス推進による業務効率化及び経費負担の軽減などを図るため、従来の紙と押印を用いた形式を、電子データおよび電子署名を用いた電子契約サービスに対応できるよう整備する。	運用拡充 R7.10～

令和7年度デジタル関連の市の取組 (2/2)

※令和7年度新規・拡充する取組のうち、市民に影響がある取組を抜粋して掲載

運用中：市民や職員がサービスを利用できる状態
 着手済：必要な手続等に着手している状態
 検討中：事業について検討を行っている状態

分野	取組	概要	状況
観光 交流・ 文化	7 回天記念館の公衆 Wi-Fi整備	展示内容をより深く理解してもらうコンテンツへのアクセスを容易にするため、大津島にある回天記念館のWi-Fiを整備する。	運用中 R7.5～
医療・ 福祉	8 音声文字変換タブ レット端末機器の窓 口設置	窓口に、音声認識文字変換システムを導入したタブレット端末を導入し、聴覚に障害のある方の窓口対応時のコミュニケーションの円滑化を図る。(実証事業)	運用中 R7.10～
学び・ 子育て	9 子育て支援施策情 報発信のサブサイ ト改修	市ホームページや外部サイトに分散することも・子育てに関する情報をサブサイトに集約するとともに、より分かりやすい情報発信に向けて、整備・改修を行う。	着手済 R7年度運用開始予定
	10 教育支援センターの ICT強化	第三次まちづくり総合計画の推進施策として掲げる「教育支援センターでのICT等を活用した学習支援」が円滑に行えるよう、センターのWi-fi環境の整備など、学校に準じたICT環境整備を行う。	運用中 R7.6～

<参考資料> 自動運転EVバス

実証期間

令和7年11月20日(木)～12月19日(金)



今年の
自動運転EVバスは
夜も走る

周南市

周南市
自動運転EVバス 実証運行

運行ルート JR徳山駅前 徳山動物園 運行期間 2025 11/20(木)～12/19(金)

運行ルートは専用または特設サイトをご覧ください。

住みよく活気のあるまちづくりと公共交通の運転士不足への対応に向けて、今年もJR徳山駅前と徳山動物園の間で自動運転EVバスの実証運行を行います。
今年も将来の無人走行を想定したアバターバスガイドによる案内や、音声機との連携による自動運転率の向上を図ります。
昨年度よりもグレードアップした車両へ、是非、期間中に乗車していただき、アンケートにて感想を教えてください。

自動運転EVバスとは？

自動運転EVバスは、車体のセンサー、遠隔監視システム等を使って自動で発車・停車、右左折等を行います。今回の実証運行では、オペレータが同乗し、危険を察知したら手動操作で安全に走行します。

特設サイト
詳しくはこちら

山口県 × 周南市 × 防長交通(株) × NTT西日本(株)

周南市 自動運転EVバス 実証運行

運行ルート JR徳山駅前 徳山動物園 運行期間 2025 11/20(木)～12/19(金)

乗車料金 無料!

「ちょい乗り100円バス」とはルートが異なるのでご注意ください。

低速(時速20km程度)で走行します。
自家用車を運転する方でお急ぎの場合は、運行ルートを選んで通行するなど、ご協力をお願いします。



運行ルート・乗車場所

往路 (赤い矢印)
復路 (青い矢印)

運行ダイヤ 11/20(木)～12/19(金) 12時～19時台に運行 (15時台を除く)

※19:10に徳山駅を出発する便が最終便となります

区分	バス停	時刻
往路	① 徳山駅前8番のりば	毎時10分発
	② 市役所前	毎時15分発
	③ 県総合庁舎西	毎時20分発
	④ 徳山動物園南	毎時30分発
復路	④ 徳山動物園南	毎時40分発
	⑤ 徳山高校向かい	毎時50分発
	⑥ 市役所向かい	毎時55分発
	⑦ 徳山駅前8番のりば	毎時00分発

※交通状況や天候状況等により、運行の中止や運行時刻が変更となる場合があります。特設サイトで当日の運行状況等をご確認ください。

乗車方法 全日予約あり

予約なしでも乗車できますが、予約した方が優先的にご乗車いただけます。

予約は2次元コード(特設サイト)から申込みください。



- 乗車される日の2週間前から予約が可能となります。
- 予約の単位は、「往路」または「復路」です。
- 往路・復路の区間をまたいで乗車する場合は、往路・復路とも予約をしてください。
- それぞれの区間内であれば、どのバス停でも乗り降りできます。
- 初日の運行は通常ダイヤと異なる場合がありますので、特設サイト等の情報を御確認ください。

お問い合わせ先 8:30～17:15(土日祝日を除く)

山口県デジタル政策課 社会実装推進班 TEL: 083-933-1325

周南市 都市整備部 公共交通対策課 TEL: 0834-22-8426

<参考資料> 訪問型スマホ教室(山口県と連携)

実施期間

令和7年11月4日(火)から12月26日(金)

場所

受講者の自宅または受講者が指定する場所

対象

周南市内に在住の方

内容

スマートフォンの操作方法等の説明や、
受講者からの質問に説明員が答える。
1講座60分
スタッフ1~2名によるサポート

参加者

12組21名

訪問型スマホ教室

参加料
無料

受講希望者宅等に説明員が訪問し、スマートフォンの使い方の説明や質問にお答えします。少人数で何でも聞けるので、自分のペースで学ぶことができます。お気軽にお申し込みください。

対象

周南市内に在住の方

日時

令和7年11月4日(火)から12月26日(金)
のうち希望する日時(60分程度)※土日・祝日を除く

場所

受講者の自宅または受講者が指定する場所(市内)

定員

12組(抽選)
※1~3名の個人・グループでのお申し込み可能です。



「撮った写真を素敵に編集したい」
「調べ物をしたい」
「LINEのアプリを使いたい」
など、なんでもお尋ねください。

貸し出し用の端末を用意しますので、
スマートフォンをお持ちでない方も受講可能です。



【申し込み】KDDI電波サポートセンター

【受付期間】10月1日(水)から10月19日(日)まで

☎0120-929-560 (午前10時から午後7時まで)

【問合せ】周南市スマートシティ推進課 ☎0834-22-8263

本事業は山口県デジタル技術振興財団のデジタルデバйд対策事業として実施されるものです。

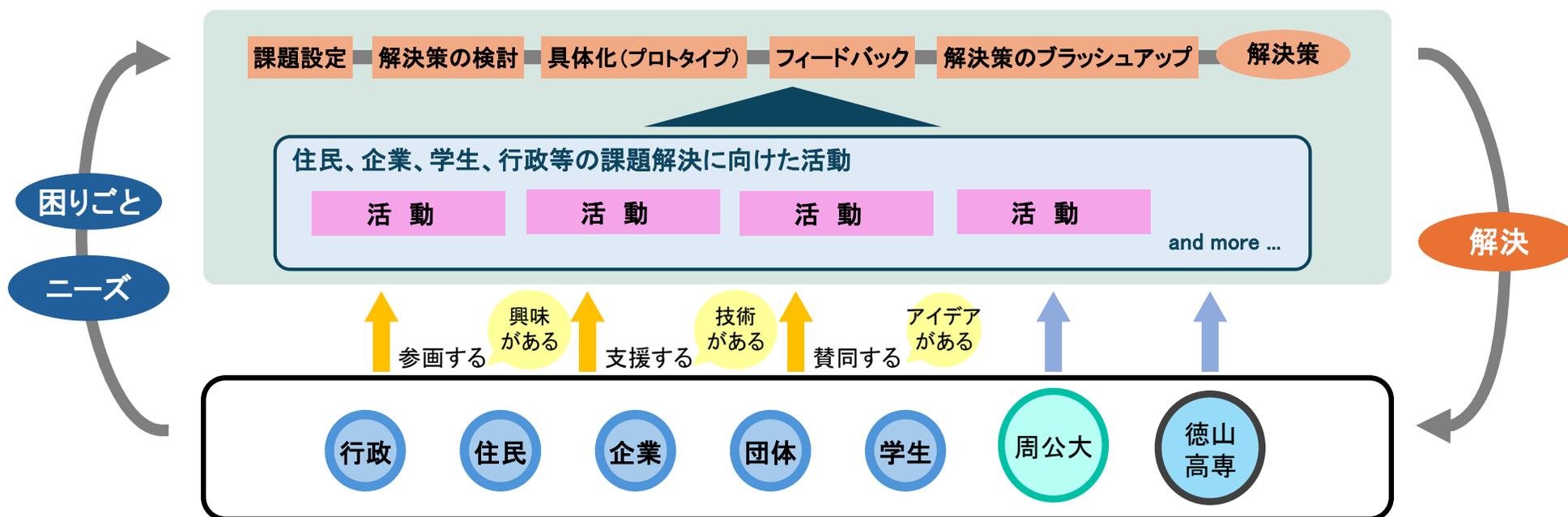
資料2

周南スマートシティデザインラボについて

周南スマートシティデザインラボが目指す姿

この仕組みが目指す姿は、**継続的な課題解決に取り組むためのプラットフォーム**

➡課題を持つ人、アイデアを持つ人、技術を持つ人、動ける人、お金を出せる人などの**多様な主体がオープンな場**に集まり、**利用者目線で全体を俯瞰しながら課題解決を図るプラットフォーム**



これまでのアプローチ

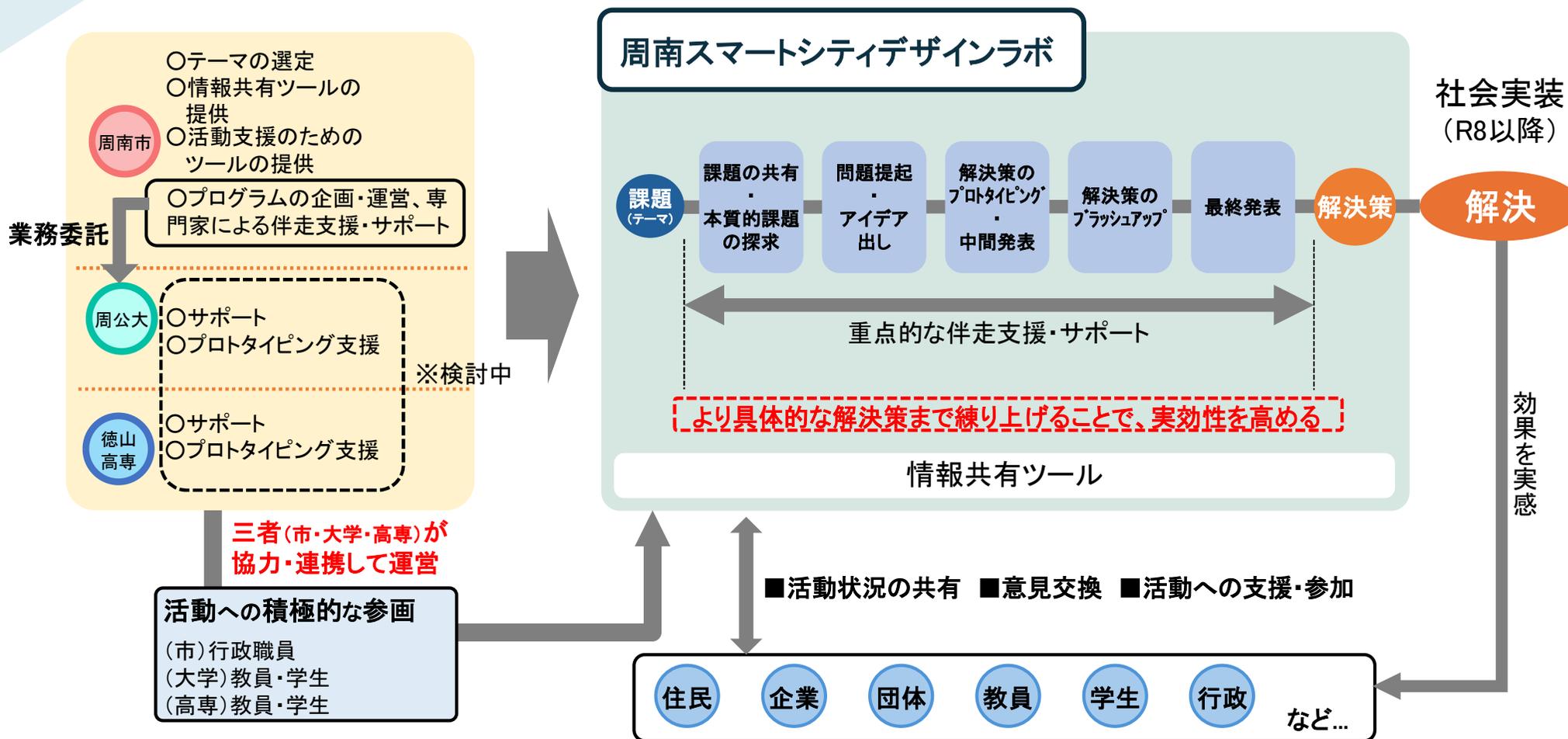
- ▶ 小さくて細かい課題が置き去り
- ▶ 個別最適にとどまり不十分な解決になる

想定される変化

- ▶ 小さくて細かい課題から分野をまたぐ複雑な課題までアプローチ可能になる
- ▶ 課題により適した解決策が得られやすくなる
- ▶ 活動を通して、新しいコミュニティやネットワークが構築される
- ▶ 成功体験を積むことにより、行動変容が起き、自ら考え行動する人が増える
- ▶ まちづくりに参画することで、まちへの愛着等の醸成につながる

周南スマートシティデザインラボの実装(令和7年度)

集中的に伴走支援・サポートを受けられる体制を構築して、**1年間で**課題解決までの一連のサイクルをまわして、**令和8年度以降に社会実装が狙える解像度まで解決策をブラッシュアップ**する。



周南スマートシティデザインラボ 実施状況

第3回プログラム

- 開催日 令和7年9月16日（火）
- 開催場所 周南市役所多目的室
- 実施内容 中間発表
アイデアの振り返り



第4回プログラム

- 開催日 令和7年12月11日（木）
- 開催場所 周南市役所多目的室
- 実施内容 チームワーク



周南スマートシティデザインラボ
Instagram

テーマ①：旧市長公舎の有効活用

- ◆活動主体 周南公立大学 学生、事業者、市職員
- ◆概要 旧市長公舎は平成31年4月に市長公舎としての行政用途を廃止しており、普通財産として管理している。令和6年度より多くの方に旧市長公舎を知っていただき、親しんでいただくために1日を午前、午後、夜間の時間帯で貸し付ける制度を整えた。旧市長公舎を有効的に活用できる方法を検討したい。



建築年	1926年(大正15年)
場所	慶万町3-15
構造	木造平屋
床面積	273.3㎡
敷地面積	1,685.21㎡

旧市長公舎の現状

1. 存在意義



大正建築物

希少性

歴史の生き証人

市民に開かれた保存すべき建造物へ

2. 現状と課題

- 活用…年1, 2回の見学会、希望者の見学受け入れ
- 管理…清掃、草刈（年間約150万円）

存在感の低下、管理コストの増加

3. 目指すべき姿

歴史的建造物として保存

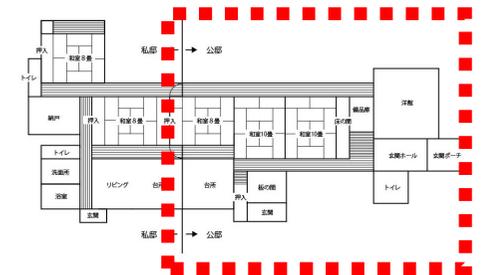
市民に親しまれる存在

活用方法に変化が必要

4. 取組

令和6年 貸付開始

- 公邸のみ（+庭）
- 1,500円/4時間
- 商用OK



5. 実績

- 利用件数・人数…49件 762名
- 内容…結婚式・七五三写真、マルシェ、展示会、講座など



では年に一度、一般見学会を実

利用者のさらなる増加へ

問題の整理

1. 問題の設定

価値を高めるには？

手続きがメンドクサイ！

2. 解決アイデア

どんな付加価値・魅力がある？

ムダの洗い出し

3. プロトタイピング

作成したチラシを使って
聞き取り調査

自分たちで借りてみる！

新たな価値を発見

簡単に使える場所に

プロトタイピング

新たな価値を発見

チラシを作成し、「行きたくなる」「ここがいいね」と思うポイントを聞き取った。

対象：10代～60代の男女16名

A 主催者向け



B 客向け



簡単に使える場所に

実際に利用者として、手続きを体験。

不便なところを洗い出して、効率化をめざす。

貸付の流れ

- 1 空き状況の確認(HP or 電話)
- 2 申込フォームから申し込み
- 3 承諾書の発送
- 4 鍵の受け取り
- 5 鍵の返却

HPに空き状況カレンダーが無い

地図が分かりづらい

注意事項が長い

そのまま電話できるように電話番号を記載

電話がかかってくると、少しうんざりする

難しい文言がある

事務処理が面倒くさい

問取りと一緒に説明があるとわかりやすい

窓口対応、説明が面倒くさい

窓口対応が面倒くさい

活動の方向性⇒新しい価値を発信しながら、借りるためのストレスを最小化していく

テーマ②：ウォーカブルで憩える徳山駅周辺

- ◆活動主体 周南公立大学 学生、市職員
- ◆概要 徳山駅周辺におけるウォーカブルなまちづくり（居心地が良く歩きたくなる空間形成）を実現するための効果的な施策を展開したい。

01 中心市街地に人が来ない



- 車社会化、郊外にゆめタウンなどの大型商業施設がオープン
- インターネットでの商品購入などの購買行動の変化
- 中心市街地の店舗に来る人が少なくなった
- 店舗の減少、空き店舗の増加

→中心市街地をどうにかしたい…！

03 限定的な賑わい



- 徳山駅前賑わい交流施設の来館者数は年間約200万人だが…
- 拠点以外の目的地が少ない？
- ゆっくりのんびりできる空間が少ない？
- 滞在時間が短い

→拠点の賑わいを波及させたい！



01

02

03

04

徳山駅前賑わい交流施設 延べ来館者数



02 人々が集う場所を整備

- 人々が集う、まちづくりの中心となる拠点整備
- 南の拠点:徳山駅前賑わい交流施設
北の拠点:徳山動物園(全園リニューアル)

→拠点に賑わいが出てきた！でも…



04 ウォーカブルなまちづくり

- 拠点をつなぐ
- 様々な人々が集い、交流できる場所
- 居心地がよく歩きたくなる空間

「車中心から人中心の空間へ」



人々が集い交流し、居心地が良く、滞在したくなる空間

課題と活動の方向性

< 課題 >

- ・ 親同士で地域や子育てのことで情報交換ができる場所が少ない。
- ・ 駅前の商店街は家族連れで利用できる店が少ない。

※誰がどのような商店街を求めているのかを確認するため、インタビューを行いターゲットを**家族連れ**に絞った。



< 問題定義 >

どうすれば安心して気軽に情報交換できる場をつくれるか。



< 活動の方向性 >

- ・ 子供も楽しむことができ、かつ、親同士で情報交換ができる場の提供

プロトタイピング

ウォーカブル



2025
10/26
Sun.
10:00-16:00

TOKUYAMA DECK
Wellness Market
ココロ、カラダ、整う1日

会場 TOKUYAMA DECK デッキパーク
及びD2 1階共用部 (業務スーパー前)

Instagram

主催 (株)パークタウン商業運営
協賛 日シダキカケ 030-1838-4450

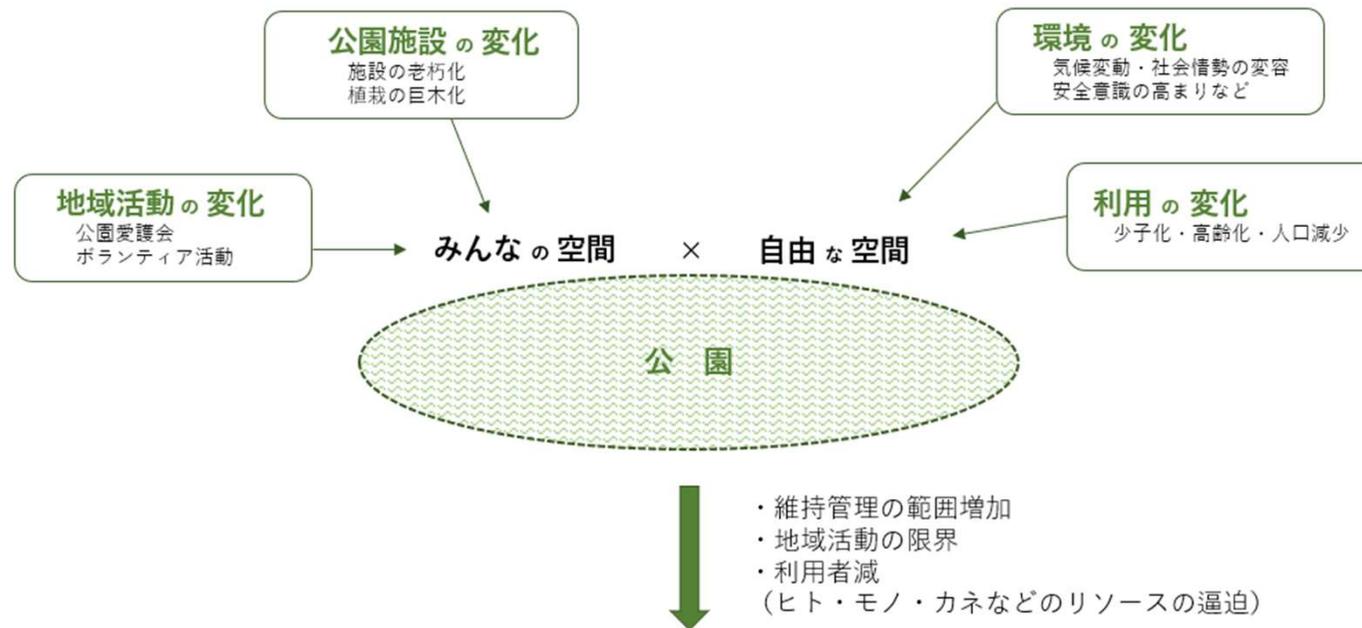
The poster features a vibrant yellow and green color scheme. It includes illustrations of people engaged in various wellness activities: a woman in a green outfit performing a yoga-like pose, a woman holding a potted plant, a woman with her arms raised in a stretch, and two people jogging. There are also icons for food, drinks, and personal care products. A QR code and contact information are provided at the bottom.



テーマ③：公園の利活用促進

- ◆活動主体 周南公立大学 学生、事業者、市職員
- ◆概要 公園の清掃・除草等の維持管理は、自治会や利用団体により結成された公園愛護会をはじめとする地域の皆さまの協力を得て行われている。しかしながら、少子高齢化や人口の減少、社会情勢の変化の影響もあり、公園の環境保全に携わる担い手が減少しているとともに、利用されない公園が出てきている。

- ・公園の特徴は他の公共施設と違って、目的がなくても訪れることができる空間



公園の目的を果たすことが難しくなっている

中間発表時のアイデア

アプローチの視点

どうすれば公園を使う心理的ハードルを取り除けるか？
どうすれば公園の魅力や使い方を知ってもらえるか？



アイデアの視点

公園を「もう少し身近に」できないか



…技術活用の検討

アイデアの具体化

公園を「見える化」する

3DGS技術を使って公園のメタバース化



徳山動物園（徳山公園）
アジアの熱帯雨林ゾーン



TOSOH PARK 永源山

※作成はチーム外の人が行っています。

課題と活動の方向性

- 課題の解決に寄与できるか
- 発展性・持続性があるか
- かかるコストが過大でないか（そもそもの課題としてリソース不足もあり）
- 他に有効な技術がないか
- 自分たちで作成できるか（内製化できるか）、作成すること自体が面白いのか



目的がなくても訪れることができるみんなの空間・自由な空間

プロトタイピング

**わくわく
あそび
パーク!**
in 代々木公園

11/29 土
9:30-12:00 入場無料 自由参加

みんな一緒に
代々木公園であそぼう！
今回は3つのあそびで対決だ！

紙ひこうき大会
いちばん遠くまで紙ひこうきを飛ばせた人が勝ち！みんなで競争しよう！

しっぽとり鬼ごっこ
だれがいちばんしっぽを取れるかな？レアしっぽを追いかけよう！

モルック勝負
親子や友達といっしょに！モルックの名手はだれかな？チームで勝負しよう！

会場 代々木公園
周南市代々木通2丁目 代々木通り
徳山駅前より徒歩7分

徳山駅前、駅西、近隣駐車場をご利用ください

お問合せ 徳山駅周辺施設管理オフィス
☎0834-34-0845

主催 周南市
※本イベントは周南スマートシティデザインラボの課題解決活動の一環として行なうものです。
協力 周南ツナガルコンソーシアム



最終発表会のご案内

日時 令和8年2月18日(水) 13時から14時30分まで(予定)
場所 周南市役所 シビックプラットホーム 多目的室
内容 各チームからプロセスと成果について発表



中間発表の様子 (R7.9.16)

提案公募制度について

概要(第11回協議会資料要約)

企業等が積極的に地域に関与し、課題解決を迅速に進めるため、提案公募制度を実施する。

<狙い>

- 行政がもつまちづくりの視点と、企業等のノウハウ・技術等を組み合わせ、地域課題の解決を実現する。
- 企業等が積極的に地域に関与しやすい環境を整備し、地域課題解決に向け、スマートシティの取組を加速させる。

方向性

多様な主体が課題解決を図るデザインラボにおいて、この考え方を取り入れた仕組みの構築を検討する。